

ごみ処理の広域化 問題点は？

2020年11月3日 奈良県山添村議 奥谷和夫

はじめに

- 一、 放置できないごみ問題…環境・資源・いのちをまもる重要な課題
 - 1、 地球温暖化とごみ問題
 - 2、 ごみ問題解決は緊急課題
- 二、 国のごみ行政の現状と課題
 - 1、 「大量生産・大量消費・大量廃棄」を見直した2000年の「循環法」
 - 2、 大型・最新鋭の多出費型施設での焼却処理、交付金制度を使い、多額の国と地方の税金投入
 - 3、 ごみ発電の促進、災害対策を理由に焼却炉の規模拡大、ごみ減量に逆行
- 三、 奈良県の第4次廃棄物処理計画から
 - 1、 計画の位置づけと期間…平成30年から34年
 - 2、 基本目標…未来に生きる「ごみゼロの奈良県」実現
 - 3、 現状と課題
- 四、 ごみ処理の広域化の現状
 - 1、 やまと広域…五條市・御所市・田原本町
 - 2、 山辺・県西部…大和高田市・天理市・山添村・三郷町・安堵町
川西町・三宅町・上牧町・広陵町・河合町
 - 3、 さくら広域…大淀町・下市町・黒滝村・天川村・川上村・東吉野村
 - 4、 桜井・宇陀地域…桜井市・宇陀市・曾爾村・御杖村
 - 5、 橿原市・高市郡地域…橿原市・高取町・明日香村
 - 6、 県北部地域…奈良市・大和郡山市・生駒市・平群町・斑鳩町
- 五、 ごみ処理広域化の問題点
 - 1、 焼却施設建設、規模拡大優先はごみ減量に逆行
 - 2、 「何でも燃やす」は、住民の意識を阻害し施設運営や事故発生に無関心になる
 - 3、 広域一部事務組合議会となるために、住民の声が届きにくくなる
- 六、 ごみ問題解決のために
 - 1、 ごみ減量のためには住民と自治体の協力が不可欠
 - 2、 住民参加の分別行動で、ごみ減量への住民の意識が高まる
 - 3、 拡大生産者責任の徹底

おわりに